

## 平成 23 年度 事 業 計 画

### 1. 財団法人 古都飛鳥保存財団としてのスタート

平成 23 年 4 月 1 日付で、(財)古都保存財団を吸収し新財団として再出発する。

### 2. 公益法人制度改革への対応

公益法人改革三法に沿って、公益財団法人への移行に向けた諸手続きを進め、今年度に内閣府へ本申請する。

### 3. 事業

No	事業項目	事業内容
	歴史的風土及び文化財の保存に関する事業	1. 歴史的風土及び文化財保存に関する助成 飛鳥地方の伝統民俗行事、芸能、工芸技術の保存等に助成 無住社寺及びこれに類するものの修復助成 2. 花と緑による景観保全・創出 ・飛鳥駅前の景観整備 ・地元・学生・ボランティアグループ等との連携 ・寄附金募集 3. (財)公園緑地管理財団との連携協力 歴史公園の活用及び景観保全・創出
	住民活動向上に関する事業	1. 土地の活用 ・地域農業振興のための農産物直売所(夢販売所)として活用 ・レンタサイクル事業所及び駐車場として活用 2. 地域文化向上に関する助成 ・明日香村文化協会 ・明日香村伝承芸能保存会 3. 村内行事への協賛
	古都における歴史的風土及び文化財保存に関する普及向上事業	1. 財団設立 40 周年記念事業 飛鳥学講演会開催(主催事業) 7/3(日)よみうりホール(東京有楽町) 基調講演 高階秀爾氏 講演 水野正好氏 西光慎治氏 「飛鳥学冠位叙任試験」(飛鳥版科学)の実施 歴史公園の 4 地区を巡るクイズラリー形式 得点により冠位を授与 叙任式の開催 「飛鳥夏休み楽校」の開校 8/23(火)~26(金)(3泊4日) 研修宿泊所を活用し、小学校高学年から中学生を対象に 飛鳥の自然に触れ、歴史を楽しく学ぶ夏休み体験学習 明日香サイクリングフェスティバルの開催 12/4(日) 奥飛鳥・多武峰をコースにした「ヒルクライムレース競技」 と明日香村内を巡る「自転車さんぽ」を同時開催

<p>古都における歴史的風土及び文化財保存に関する普及向上事業</p>	<p>海外現地研修旅行への協賛</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. あすか塾セミナーの実施 宿泊体験活動を含むセミナー事業 計 21 回(日帰り研修 12 回、宿泊研修 9 回)</li> <li>3. 「明日香村まるごと博物館フォーラム」(共催事業) 7/30(土)九州国立博物館(大宰府市)</li> <li>4. 大学との連携協力事業の実施(奈良大学・帝塚山大学) <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛鳥周遊ウォークの開催(秋)</li> <li>・公開講座・現地ウォークの開催(春・秋)</li> <li>・飛鳥光の回廊に参画 (吹奏楽演奏、インテリアファブリックの展示)</li> </ul> </li> <li>5. 飛鳥応援大使の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動機会の拡大と活動支援 「凧作りと凧揚げ大会」の開催 1/14(土)</li> <li>・大使交流会の開催</li> </ul> </li> <li>6. インタ-ネットを活用した情報発信の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブログ機能を活用した最新情報の発信</li> <li>・財団メールマガジン(情報)の配信検討</li> <li>・総合的な飛鳥 HP 作成への協力</li> </ul> </li> <li>7. 明日香村観光交流活性化事業への協賛</li> </ol>
<p>季刊誌発行事業 (財)日本宝くじ協会助成金事業</p>	<p>季刊「明日香風」頒布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創刊 昭和 56 年(1981 年)10 月</li> <li>・仕様 B 5 判 3 6 ページ</li> <li>・発行回数 年 4 回(季刊)</li> <li>・発行部数 各 2 万部</li> <li>・古都保存財団との合併を機に、古都に関する情報を加え、古都並びに飛鳥情報誌として年間購読者拡大を図ると共に、広告・協賛法人の獲得、個人特別会員の積極的募集を図る</li> <li>・発行費削減に向け発行事業の見直し</li> <li>・書籍取次による本誌の販売数の増大及び図書館などへの頒布拡大を図る</li> </ul>
<p>総合案内所「飛鳥びとの館」経営 (特別会計)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 飛鳥見学来訪者等への情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型マップによる飛鳥案内及び大型モニターによる飛鳥紹介映像の放映</li> <li>・飛鳥見学に必要な資料、図書、地図等の充実及び頒布・販売</li> <li>・インタ-ネット等を活用したリアルタイムな情報収集と情報提供 (花の開花情報等)</li> <li>・飛鳥在住工芸作家の紹介、作品展示</li> </ul> </li> <li>2. 飛鳥来訪者への文化財等の保存・活用への協力依頼及びマナーの指導</li> <li>3. 飛鳥地場産品の紹介・販売</li> <li>4. 施設利活用についての積極的アプローチ 旅行業者・学校・団体等へ施設活用方法の PR</li> <li>5. 飛鳥保存の募金型自動販売機の PR 促進と拡大に向けた取組</li> <li>6. 飛鳥オリジナル企画商品の開発検討</li> </ol>

<p>研修宿泊所「祝戸荘」の経営 (特別会計)</p>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. あすか塾セミナーの開催</li> <li>2. 多目的利用に向けた提案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元並びに関係団体・機関との連携による施設の利活用</li> <li>・体験型イベントの開催</li> <li>・写真展示等によるロビースペースの活用</li> </ul> </li> <li>3. 地元との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元行事への参加、地元農産品の販売など</li> <li>・飛鳥光の回廊への参加</li> </ul> </li> <li>4. 立ち寄り機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・温浴施設の利用促進への取組</li> <li>・団体食事利用(古代食など)拡大に向けた取組 チラシ作成、大手旅行業者との提携</li> </ul> </li> <li>5. 利用者ニーズに合わせた商品の検討、販売強化</li> <li>6. 大型モニターを活用した飛鳥の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛鳥発掘情報や飛鳥のイベント情報の発信検討</li> <li>・公園内施設として情報発信機能強化</li> </ul> </li> <li>7. 利用促進に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・財団設立40周年記念プランの策定と実施</li> <li>・マスメディア及び旅行雑誌などへの情報提供</li> <li>・団体向け施設利活用の積極的な提案</li> <li>・インターネットによる滞在型観光やスポット紹介などの積極的提案とブログ機能を活用した飛鳥ファンの拡充</li> <li>・旅サイトからのネット申込者の拡大</li> <li>・ターゲット別DMの発送</li> <li>・連携大学(教員・学生)との協力関係の充実</li> </ul> </li> <li>8. 施設並びに備品の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・通路に安全柵の設置</li> <li>・通路灯の追加</li> <li>・アンケートの声を反映した備品の見直し</li> </ul> </li> </ol>
<p>高松塚壁画館の経営 (特別会計)</p>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 壁画館展示品(古墳版築層標本、模写壁画、副葬品複製品、石槨模型等)の保存管理と活用</li> <li>2. 高松塚古墳壁画(修復中)公開への連携協力</li> <li>3. 高松塚古墳発見40周年(平成24年3月21日)記念事業に連携協力</li> <li>4. 解説手法及び情報検索システムの改善方法の検討</li> <li>5. 新たなク・ポン契約の検討</li> <li>6. 来館促進に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道会社との連携による施設優待</li> <li>・近隣博物館、美術館などでの案内チラシの配布</li> <li>・飛鳥総合案内所「飛鳥びとの館」前の誘導案内板設置</li> </ul> </li> <li>7. 壁画館関係図書及び資料の収集</li> <li>8. 窓口業務を明日香村に委託</li> </ol>
<p>民俗資料の家の保存管理</p>		<p>江戸中期の大和風民家を民俗文化財として保存管理し、公開するとともに、スト・ンシアタ・として隣接する亀形石造物の解説等を発信。運営を明日香村に委託</p>